

取扱説明書

ProLite

LCD Monitor



警告表示について -

本書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷 を負う可能性が想定される内容を示しています。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能 性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示 しています。

VCCI(電波障害自主規制)

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としてい ますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こ すことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。

ただし、下記のことが守られず使用された場合は、保証いたしかねますのでご注意ください。

- モニタの内部およびケーブルの改造はしないこと。
- 電源コードおよびケーブル類は付属のものを使用すること。

ENERGY STAR®

当社は ENERGY STAR® プログラムの参加事業者として、本製品が ENERGY STAR® プログラムの基 準に適合していると判断します。

- ■本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りいたします。
- ■本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。
- 本書に記載した会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。
- 本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一誤りや記載もれなどお気付きの点 がありましたら販売店までご連絡ください。

愛情点検 長年ご使用のモニタの点検を!



で使用の際 このようなことは ● 伊が出たり、こげくさい臭いがする。 ありませんか

- ●電源コードを動かすと、
- 電源がONになったりOFFになったりする。
- ●キャビネットが異常に熱い。
- ●使用中に異常な音や振動などがある。
- ●その他の異常や故障がある。

ご使用を中止してください

故障や事故防止のため、電源プラグをはずし 必ず販売店またはiiyamaサポートセンターに で連絡ください。

点検・修理に要する費用などは販売店または iivamaサポートセンターにご相談ください。

もくじ

安全にご使用いただくために1
で使用の前に5
特長5
標準付属品5
壁かけでご使用する場合6
スタンドの取り付け/取り外し7
各部のなまえ8
コンピュータとの接続9
コンピュータの設定10
パネルの高さ / 角度調節11
画面の回転方法11
操作手順12
調整メニューの内容14
パワーマネージメント機能22
故障かなと思ったら23
クリーニング24
アフターサービス25
保証書/保証期間について25
修理サービス25
リサイクル/廃棄について25
付録26
一般仕様26
外形寸法図27
対応信号タイミング27

安全にご使用いただくために

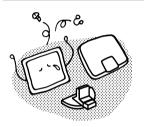
で使用になる前に、次の注意事項をよくお読みになり必ずお守りください。







煙が出る、変な臭いや音がするなどの異常が発生したときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店または iiyama サポートセンターに修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。





抜く

キャビネットは外さない、改造しない

内部には電圧の高い部分があり、キャビネットを外した り改造すると火災や感電の原因となります。 内部の占給や修理は販売店または iiyama サポートセン

内部の点検や修理は販売店または iiyama サポートセンターにご依頼ください。



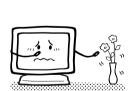


プラグを 抜く

異物を入れない

モニタの通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災や感電または故障の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

万一、異物が入ったときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店または iiyama サポートセンターにご連絡ください。





プラグを 抜く

花びんやコップをモニタの近くに置かない

水やその他の液体、溶剤の入った容器をモニタの近くに 置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火 災や感電または故障の原因となります。

万一、水などが入ったときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店またはiiyama サポートセンターにで連絡ください。





不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。平らで十分に強度がある安定した場所に置いてください。万一、モニタを落としたり、キャビネットを破損した場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店または iiyama サポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。



プラグを 抜く



使用禁止

水のある場所で使わない

風呂場など水が入ったり、ぬれたりする場所で使用しないでください。火災や感電の原因となります。





電源コードのアースリードを接地する

安全のため、必ずアースリード(黄/黄緑)を接地してください。アース接続は、電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。また、アースを外す場合は、電源プラグをコンセントから抜いた後行ってください。順番を間違えると、感電の原因となります。





接地する

電源コードを傷つけない

電源コードの上に重いものをのせたり、モニタの下敷きにならないようにしてください。また、無理に曲げたり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災や感電の原因となります。

コードが傷んだらすぐに販売店または iiyama サポート センターに交換をご依頼ください。



雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない

感電の原因となります。

⚠ 注意





置き場所を選ぶ

次のような場所に置かないでください。火災や感電また は故障の原因となることがあります。

- × 湿気やほこりの多い場所
- × 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所
- × 直射日光や照明光が直接画面にあたる場所
- × 執器旦の近く

通風孔をふさがない

次のような使い方はしないでください。

- × チルトスタンドをはずす。
- × あお向けや横倒し、逆さまにする。
- × 押し入れ、本箱など風通しの悪いせまい所に押し込む。
- × じゅうたんや布団の上に置く。
- × テーブルクロスなどをかける。

通風孔をふさぐと内部に熱がこむり、火災の原因となる ことがあります。風通しをよくするために、モニタは周 囲から 10cm 以上離して置いてください。



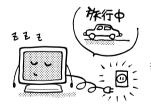


移動させるときは、外部の接続コードをはずす





電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから 抜き、信号ケーブルなどの接続コードをはずしたことを 確認の上、移動させてください。火災や感電の原因とな 指示に従う ることがあります。

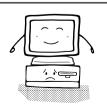




指示に従う

旅行などで長期間使わないときは、電源プラグを抜く

安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてく ださい。火災の原因となることがあります。





指示に従う

コンピュータの上にモニタを置くとき

必ずコンピュータの取扱説明書などで強度を確認してく ださい。コンピュータが破損する原因となることがあり ます。

注意





プラグを持って抜く

雷源コードや信号ケーブルを抜くときは、コードを引っ 張らないでください。コードに傷がつき、火災や感電の 原因となることがあります。必ずプラグの部分を持って 指示に従う 抜いてください。





ぬれた手で電源プラグにさわらないで

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感 雷の原因となることがあります。

24 時間連続使用しないで



本製品は、24時間連続使用することを前提として設計さ れておりませんので、24時間連続して使用しないでくだ さい。

正しくで使用いただくために

目を大切に

画面の位置は、目の高さよりやや低く、目から約 40 ~ 60cm はなれたくらいが見やすくて疲れま せん。使用する部屋は暗すぎると目が疲れます。適度の明るさの中でご使用ください。また、長 時間画面を見続けると目が疲れますので、1時間に10分程度の休息をおすすめします。

故障ではありません

- ■お使いのコンピュータによっては、画像がずれる場合があります。画面位置を正しく調整して で使用ください。
- ご使用初期において、バックライトの特性上、画面にチラつきが出ることがあります。この場合、 雷源スイッチをいったん切り、再度スイッチを入れなおしてご確認ください。
- ■液晶モニタは、表示する色や明るさにより微小な斑点およびむらが見えることがあります。
- ■画面上に常時点灯、または点灯していない画素が数点ある場合があります。これは、液晶パネ ルの特性によるものです。
- ■液晶パネルの特性上長時間同じ画面を表示していると、画面表示を変えたときに前の画面の残 像 (焼き付きのような症状) が発生する可能性があります。この場合、下記のいずれかの方法 で徐々に改善されます。
 - 画面の表示パターンを変える。
 - 数時間電源を切っておく。
- ■本製品に使用しているバックライトには寿命があります。 画面が暗くなったり、チラついたり、点灯しないときは、販売店または iiyama サポートセンター までお問い合わせください。
- 4 安全にご使用いただくために

で使用の前に

このたびは本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

で使用になる前に本書をよく読んで正しくお使いください。

また、付属のセーフティ&クイックスタートガイドに保証書が記載されていますので、「販売店名・ お買い上げ日」等の所定事項の記入及び記載内容をご確認の上、大切に保管してください。

特長

- ◆ 最大 5120 × 2880 モードをサポート
- ◆ 高コントラスト 1200:1(標準), Adv. コントラスト機能有/輝度 440cd/㎡(標準)の高性 能パネル採用
- ◆ フリッカーフリー対応
- ◆ ブルーライト軽減機能搭載
- ◆ デジタルスムージング機能搭載
- ◆ ステレオスピーカ内蔵 2W + 2W 出力のステレオスピーカ内蔵。
- ◆ プラグ&プレイ VESA DDC2B 対応 Windows® 7/8.0/10 上でプラグ&プレイに対応しています。
- ◆ 省電力設計 パワーマネージメント機能搭載
- ◆ VESA マウント規格 (100mm × 100mm) 対応
- ◆ 盗難防止ロック対応

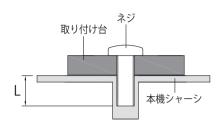
標準付属品

モニタ本体の他に、下記のものが全て含まれていることをご確認ください。

- 電源コード*
- HDMI ケーブル 1 本 DisplayPort ケーブル 1 本
- スタンドベース
- スタンドベース固定用ネジ3ケ
- セーフティ & クイックスタートガイド / 保証書
- 補足 * 付属の電源コードは本製品専用です。他の機器には使用しないでください。 また、次のような場合は、サポート及び保証の対象外となります。
 - ■付属以外の電源コードをお使いになる場合
 - 日本以外の国でお使いになる場合 サポート及び保証の対象外となることをご承知の上で日本以外でお使いになる場合 は、その国の安全規格に合った電源コードをご使用ください。

「壁かけでご使用する場合」

- ■壁かけでご使用する場合は、取り付け台の厚さを考慮の上、L部の長さが 7mm となる M4 ワッシャー付ネジを使用して、しっかりと固定してください。指定の長さを超えるネジを使用すると、モニタ内部の電気部品に接触し、感電または故障の原因となることがあります。
- ■壁や天井に取り付ける前に、モニタの重量を支えることができるか確認してください。



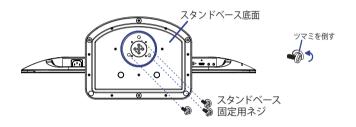
スタンドの取り付け / 取り外し

! 注意

- スタンドベースの取り扱いは安定した台の上で行ってください。モニタが転倒・ 落下してけがや故障の原因となります。
- ■モニタに強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- スタンドベースの取り付けや取り外しを行う場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感雷や故障の原因となります。

< 取り付け >

- ① 平らで安定した台の上に、モニタの画面が傷付かないようにやわらかい布を敷き、モニタの画面を下にして置きます。
- ② 本体にスタンドベースを取り付けます。
- ③スタンドベースに付属の固定用ネジでネジ止めし、ネジのツマミを倒します。

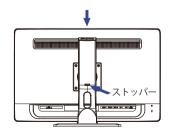


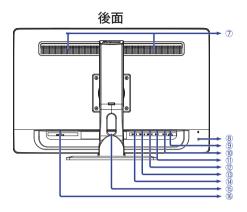
<取り外し>

- ① 平らで安定した台の上に、モニタの画面が傷付かないようにやわらかい布を敷き、モニタの画面を下にして置きます。
- ② 固定用ネジのツマミを起こしてネジを取り外し、スタンドベースを取り外します。

<ストッパー>

本製品をで使用になる前に、スタンド後部のストッパー を解除してください。その際、スタンド内部のバネの反動が生じますので、モニタ上部を下に押しながら、ストッパーを押してください。





- ① 電源スイッチ (())
- ② 電源インジケータ

補足 青色点灯:通常動作時

橙色点灯:パワーマネージメント時

- ③ 入力切替 / 選択ボタン (INPUT/SELECT)
- ④ スクロールアップ / 音量調整ボタン (▶/ 🗘)*
- ⑤ スクロールダウン / i-Style Color ボタン (◀/i)*
- ⑥メニュー / EXIT ボタン (MENU/EXIT)*
- ⑦スピーカー
- ⑧ 盗難防止ロック用ホール

補足 盗難防止のため、モニタにロックを取り付けることができます。

- ⑨ヘッドホンコネクタ (EARPHONE)
- ⑩ DisplayPort コネクタ (DP2)
- ① DisplayPort コネクタ (DP1)
- 12 HDMI コネクタ (HDMI3)
- ⁽¹³⁾ HDMI コネクタ (HDMI2)
- (4 HDMI コネクタ (HDMI1)
- ⑤ ケーブルホール
- ⑯ 電源コード接続コネクタ (AC POWER IN)
- * メニュー画面を表示する手間を省き、ボタン操作で直接調整画面に入ることができます。

半嘂

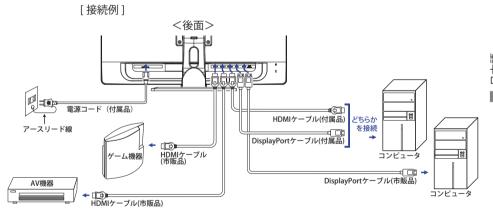
コンピュータとの接続

| 个警告

■安全のため、必ずアースリード(黄/黄緑)を接地してください。アース接続は、電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。また、アースを外す場合は、電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。順番を間違えると、感電の原因となります。

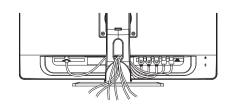
■ アースリードをコンセントに挿入,接触させないでください。火災や感電の原因となります。

- ■信号ケーブルはで使用になるコンピュータによって異なります。誤った接続をするとモニタやコンピュータの故障の原因となることがあります。
- ■周辺機器への取り付けや取り外しを行う場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電や故障の原因となることがあります。
- ■付属のケーブル以外のケーブルを使用すると不具合が発生することがあります。
- ①モニタおよびコンピュータの電源が「OFF」であることを確認します。
- ② HDMI ケーブルまたは DisplayPort ケーブルを、モニタとコンピュータに接続します。
 - 補足 ■1 台のコンピュータに HDMI ケーブルと DisplayPort ケーブルを一緒に接続しないでください。不具合が発生することがあります。
- ③ HDMI 接続ができる AV 機器を使用する場合は、HDMI ケーブルをモニタと AV 機器に接続します。 補足 HDMI を使用する際は、市販品の HDMI ケーブル(HDMI 認証済)をご使用ください。
- ④ 電源コードを電源コード接続コネクタに接続してから、コンセントに接続します。この際、アースの接続は必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。
- ⑤モニタおよびコンピュータの電源を「ON」します。



[ケーブルをまとめる]

ケーブル類をケーブルホールに通して、図のようにまとめます。



コンピュータの設定

■信号タイミング

本製品がサポートしているお好みの解像度(P.27「対応信号タイミング」参照)に設定してください。

パネルの高さ/角度調節

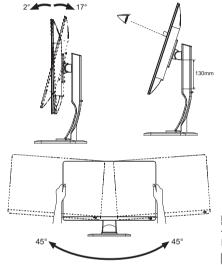
| 注意

- 角度調節の際、液晶パネル面を押さないでください。液晶パネルを破損し、最悪の場合、液晶パネルが割れるおそれがあります。
- ■角度調節の際、スタンド可動部のスキ間に指を入れないでください。ケガの原因となることがあります。
- 高さ調節の際、パネル下部とスタンドの間に手を入れているときに、モニタを勢い良く下げないでください。ケガの原因となることがあります。

7.92 F

スダント

- ■液晶モニタは、正面から見る画面が一番きれいに見えます。高さや傾きを調節して、見やすい位置でで使用ください。
- ■高さ調節や角度調節の際は、パネルの左右を 持って行ってください。
- 高さ調節範囲は 130mm、角度調節範囲は左右 各 45°、上方向 17°、下方向 2°です。



画面の回転方法

このモデルでは利用できません。

本製品の昇降スタンドは、モニタ設置時に画面の傾きを調節できるように回転機能が付いております。

あくまでも本製品は横画面での使用を前提として設計しておりますので、本回転機能を使用して縦画面や画面が極端に傾いた状態では使用しないようにしてください。

(縦画面や画面が極端に傾いた状態でで使用された場合は、保証の対象外となります。)

またモニタの画面位置 (角度、傾き、高さ等) を調節をする際は、安全のために 両手で調節するようにしてください。

操作手順

P.27 の「対応信号タイミング」にて、最良の状態になるようにあらかじめ調整してありますが、 接続するコンピュータの種類により調整が必要になる場合があります。そのようなときは次の手 順に従ってボタン操作を行ってください。

オンスクリーン表示 (OSD) の工場出荷設定言語は英語表示になっています。お好みにより言語を 選択してください。なお、ここでは日本語表示で説明しています。

① MENU ボタンを押すと、画面にメニューが表示されます。 ◀/ ▶ ボタンで調整項目を送り ます。



- ② 調整したいアイコンがあるメニュー項目を選択し、SELECT ボタンを押します。 ◀/▶ ボタ ンで調整する項目を選択します。
- ③ 再び SELECT ボタンを押し、◀/▶ ボタンを使って調整や設定を行っていきます。
- ④ EXIT ボタンを押して終了します。 OSD が消えると調整や設定の内容を自動的に記憶します。

例えば垂直位置を調整したいときは、まずメニュー項目の OSD 設定メニューを選択し、SE-LECT ボタンを押します。次に \triangleleft / \triangleright ボタンで垂直位置を選択し、SELECT ボタンを押します。



◀/▶ボタンでお好みの位置に調整します。

垂直位置 — |||||||||

最後に EXIT ボタンを押して終了し、設定を記憶させます。

- 補足 ■調整中にボタン操作を中止すると、OSD タイムアウトの設定時間後に OSD が消えます。 また、EXIT ボタンを押していくと、OSD を消すことができます。
 - ■オンスクリーン表示が消えると同時に調整内容が記憶されます。この間に電源を「OFF」 しないでください。
 - ■水平/垂直位置、クロック、フェーズの調整内容は、信号タイミング別に記憶されます。 これ以外の調整項目については全ての信号タイミングに対して共通の内容が記憶されます。

■機能の調整可能 / 無効表

		調整機能						
		Adv. コントラスト	エコモード	i-Style Color	ブルーライ ト低減	輝度	コントラスト	Overdrive
機能を有効にしている時	Adv. コントラスト	_	×	0	×	×	0	0
	エコモード	×	_	0	×	×	0	0
	i-Style Color	×	×	_	×	×	×	×
	ブルーライト低減	×	×	×	_	0	0	0

○:調整可能 ×:調整無効

調整メニューの内容

言語 (Language) で日本語表示を選択した場合を黒色、英語表示を選択した場合を青色にて記載しています。

一 入力選択 Input Select	ダイレクト調整				
調整項目		画面の状態 / 調整ボタン			
	HDMI1	映像入力をデジタル入力(HDMI1)に切り替えます。			
	HDMI2	映像入力をデジタル入力(HDMI2)に切り替えます。			
入力選択	HDMI3	映像入力をデジタル入力(HDMI3)に切り替えます。			
Input Select	DisplayPort1	映像入力をデジタル入力(DisplayPort1)に切り替えます。			
	DisplayPort2	映像入力をデジタル入力(DisplayPort2)に切り替えます。			
	AUTO	映像入力を検出し、自動的に切り替えます。			
補足 AUTO は、入力されている信号のうちどれか 1 種類を自動的に選択します。 選択したい信号の接続されているコンピュータが、パワーマネージメントモードになっている場合は、切り替えできません。 また、各入力に設定している時、信号入力は固定となり、自動選択しません。					

ダイレクト調整

メニュー画面を表示する手間を省き、次のボタン操作で直接設定画面に入ることができます。

● 入力選択:メニュー画面を表示していない時に、INPUT ボタンを押します。



調整項目		画面の状態 / 調整ボタン			
ピクチャー調整 * ¹ Picture Format	フルスクリー アスペクトレ ドットバイ				
輝度 * ^{3,4} Brightness	暗すぎる ◆ ▶ 明るすぎる ◆ ◆				
コントラスト * ⁴ Contrast	弱すぎる 強すぎる ・ ・				
シャープネス Sharpness	0~100 (ソフト→シャープ) まで設定されています。 ▶ ボタンを押すと昇順に移動し、◀ボタンを押すと降順に移動します。				
Overdrive *1,4 Overdrive	Off / -2 / -1 / 0 / +1 / +2 レベル (数字) が上がると応答速度が速くなります。 ・				
Adv. コントラスト * ^{1,4}	オンコ	コントラスト比を改善します。			
Adv. Contrast	オフ標準	標準			
	オフ標準	標準			
		ックライトの明るさを抑え、消費電力を低減します。			
エコモード * ⁴ ECO Mode		1よりバックライトの明るさを抑え、消費電力を低減します。			
	3 2 6	よりバックライトの明るさを抑え、消費電力を低減 ます。			
	オフ	標準			
X-Res Technology	ソフト	映像の輪郭を強調します。			
X-Res Technology	ミドル	ソフトより映像の輪郭を更に強調します。			
	ハード	ミドルより映像の輪郭を更に強調します。			

^{*&}lt;sup>1</sup> PiP/PbP Mode を設定している時は選択できません。

^{*&}lt;sup>2</sup> 解像度が 16:9 の時は選択することができません。入力信号が 4:3,5:4,16:10 の時に、アスペクト比 4:3 で画面の中央に表示することができます。

^{*3} 暗い部屋などで使用していて画面がまぶしい場合は、輝度を調整してください。

^{*4}機能の調整可能/無効については、p.13「機能の調整可能/無効表」を参照してください。

PiP/PbP PiP/PbP

調整項目	画面の状態 / 調整ボタン		
DID (DI D 14 I V	オフ	PiP/PbP Mode をオフします。	
PiP/PbP Mode * PiP/PbP Mode	PiP	メイン画面にサブ画面を表示します。	
TII / I DI WIOGE	PbP	表示画面を二分割します。	
	HDMI1	映像入力をデジタル入力(HDMI1)に切り替えます。	
C I Min I	HDMI2	映像入力をデジタル入力(HDMI2)に切り替えます。	
Sub Win Input Sub Win Input	HDMI3	映像入力をデジタル入力(HDMI3)に切り替えます。	
	DisplayPort1	映像入力をデジタル入力 (DisplayPort1) に切り替えます。	
	DisplayPort2	映像入力をデジタル入力(DisplayPort2)に切り替えます。	
D:D C:	Small	サブ画面のサイズを小さくします。	
PiP Size PiP Size	Middle	標準	
TH SIZE	Large	サブ画面のサイズを大きくします。	
	Top-Right	サブ画面を右上へ移動します。	
PiP Position	Top-Left	サブ画面を左上へ移動します。	
PiP Position	Bottom-Right	サブ画面を右下へ移動します。	
	Bottom-Left	サブ画面を左下へ移動します。	
Swap Swap	PiP Mode が有	効な時、メイン画面とサブ画面を入れ替えます。	

^{*} PiP = ピクチャー・イン・ピクチャー

この機能は、2つの異なる画面を表示することができます。

PbP = ピクチャー・バイ・ピクチャー

この機能は、2つの異なる画面を並べて表示することができます。

オーディオ調整 Audio Adjust

調整項目	画面の状態 / 調整ボタン		
音量 Volume	音量が小さい 音量が大きい	★ A ★ ▼	
ミュート ダイレクト調整	オン	一時的に音を消します。	
Mute 94091 iii E	オフ	元の音量に戻します。	
	HDMI1	音声入力を HDMI1 に切り替えます。	
音声入力*	HDMI3	音声入力を HDMI2 に切り替えます。	
ョースノブ Audio Input	HDMI3	音声入力を HDMI3 に切り替えます。	
·	DisplayPort1	音声入力を DisplayPort1 に切り替えます。	
	DisplayPort2	音声入力を DisplayPort2 に切り替えます。	

^{*} PiP または PbP を有効にした時、サブ画面で音声を選択して使用することができます。

ダイレクト調整

メニュー画面を表示する手間を省き、次のボタン操作で直接設定画面に入ることができます。

- オーディオ調整:メニュー画面を表示していない時に、▶ ボタンを押します。
- ミュート: メニュー画面を表示していない時に、▶ ボタンを約2秒間押します。▶ ボタンを押す 毎にオン / オフが切り替わります。

カラー調整 *¹ Color Adjust

調整項目	画面の状態 / 調整ボタン			
ウォーム Warm	やや赤みがかったホワイト			
ノーマル Normal	やや緑みがかっ	やや緑みがかったホワイト		
クール Cool	やや青みがか	ったホワイト		
ユーザーカラー設定 User Color	赤 緑 青	弱すぎる → ▶ 強すぎる → ◀		
	オフ	i-Style Color 以外のカラー調整で設定された状態に戻ります。		
i-Style Color ダイレクト調整	標準	標準		
i-Style Color	風景	写真を鑑賞するときなどに最適です。		
	映画	映画を鑑賞するときなどに最適です。		
	テキスト	文章を作成するときなどに最適です。		
	オフ	標準		
ブルーライト低減 * ² ダイレクト調整	1	ブルーライトを軽減します。		
Blue Light Reducer 94107下調整	2	ブルーライトをモード1より軽減します。		
	3	ブルーライトをモード2より軽減します。		

- *1 ブルーライト低減を設定している時はブルーライト低減以外の項目は選択できません。
- *² 機能の調整可能 / 無効については、p.13「機能の調整可能 / 無効表」を参照してください。

ダイレクト調整

□ メニュー画面を表示する手間を省き、次のボタン操作で直接設定画面に入ることができます。

- i-Style Color:メニュー画面を表示していない時に、

 ボタンを押します。
- ブルーライト低減:メニュー画面を表示していない時に、モニタの SELECT ボタンを約 2 秒間押します。



言語選択 Language

調整項目	画面の状態 / 調整ボタン			
	English	英語表示	Italiano	イタリア語表示
—-=-\zz+n	Français	フランス語表示	Русский	ロシア語表示
言語選択	Deutsch	ドイツ語表示	日本語	日本語表示
Language	Nederlands	オランダ語表示	简体中文	簡体中文表示
	Polski	ポーランド語表示	繁體中文	繁体中文表示
	Česky	チェコ語表示		

OSD 設定メニュー OSD Settings		
調整項目	画面の状態 / 調整ボタン	
水平位置 OSD H. Position	OSD が左によっている ・ OSD が右によっている ・	\
垂直位置 OSD V. Position	OSD が下によっている OSD が上によっている	\
OSD 背景 OSD Background	OSD の背景を透過します。 オフ / 1 / 2 / 3 / 4	A
OSD 表示時間 OSD Time Out	OSD のオフタイマーを設定します。 5 / 10 / 20 / 30 / 60 秒	A



設定メニュー Setup Menu

調整項目	画面の状態 / 調整ボタン			
DP Format *	リミテッド	DisplayPort 信号の範囲を制限します。		
DP Format	フル	標準		
オープニングロゴ	オン	電源を入れたときに、ロゴを表示します。		
Opening Logo	オフ	電源を入れたときに、ロゴを表示しません。		
LED	オン	電源インジケータを点灯します。		
LED	オフ	電源インジケータを消灯します。		
補足 電源インジケー	タの光が気になる ⁵	場合にご使用ください。		
自動電源オフ	オン	自動電源オフをオンにします。		
Auto Pow. Off	オフ	自動電源オフをオフにします。		
補足 自動電源オフをを 自動的に電源があ		「れかのキーを操作することがない場合、3 時間後に		
	コンピュータのク 連の情報を表示し	ブラフィックカードから入ってくる現在の入力信号関 します。		
インフォメーション Information	\$\tilde{\tau}\$. ADBH \(\theta\) as \(\theta\) \$\tau\) \$\tau\\$	#足 解像度とリフレッシュ速度の変更に関する 詳細については、グラフィックカードのユー ザーガイドをご覧ください。		
メモリーリコール	はい	工場出荷状態に戻します。		

日本語

メモリーリコール Memory Recall

いいえ

メニューに戻ります。

^{*} このオプションを選択すると、サポートされている解像度は DisplayPort で最大 3840x2160 に制限されます。

●ロック機能

<OSD メニュー>

不用意な設定変更などを防ぐため、OSD メニューを表示をさせないようにします。

- 1. モニタの電源がオンになっていることを確認します。
- 2. MENU ボタンと ▶ ボタンを同時に押し続けます。画面に "Locking OSD" が表示されて、"OSD locked" が表示され、OSD メニューの表示ができなくなります。
- 3. 解除するには 2 と同様の操作を行います。画面に"OSD unlocked"が表示されると OSD メニューが表示できるようになります。

<電源スイッチ>

不用意な電源操作などを防ぐため、モニタ前面の電源スイッチ操作をできないようにします。

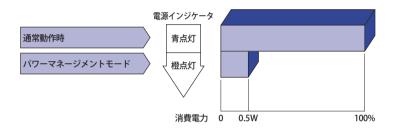
- 1. モニタの電源がオンになっていることを確認します。
- 2. MENU ボタンと ◀ ボタンを同時に押し続けます。画面に"Locking Power Button"が表示されて、 "Power Button locked" が表示され、モニタ前面の電源スイッチ操作ができなくなります。
- 3. 解除するには 2 と同様の操作を行います。画面に "Power Button unlocked" が表示されるとモニタ前面の電源スイッチが操作できるようになります。

パワーマネージメント機能

本製品のパワーマネージメント機能は、ENERGY STAR®, VESA DPMS の省電力に関する規格に対応しており、一定時間コンピュータを使用しないときにモニタの消費電力を自動的に抑えることができます。この機能は VESA DPMS に対応したコンピュータと接続して使用される場合のみ機能し、次のモードを備えています。モードの時間設定等はコンピュータ側で行います。

■パワーマネージメントモード

コンピュータからの水平同期信号 / 垂直同期信号のどちらか一方、または水平および垂直同期信号が OFF 状態になるとパワーマネージメントモード (消費電力 0.5W 以下) となり、画面が暗くなるとともに電源インジケータが橙色に点灯します。この状態でマウスまたはキーボードを操作すると、画面は数秒後に表示され通常動作状態に戻ります。



補足

- ■パワーマネージメントモードでも電力を消費しています。夜間や週末などモニタを使用しないときは必ず電源スイッチを切り、不要な電力消費を避けてください。
- ■水平または垂直同期信号が OFF になっているにも関わらずビデオ信号が出力されているコンピュータについては、パワーマネージメント機能が正常に動作しない場合があります。

故障かなと思ったら

444

「故障かな?」と思ったら次の順番で調べてみてください。

- 1. 「操作手順」に従い症状に合わせて調整してみてください。なお、映像が出ない場合は2へ進んでください。
- 2. 調整項目にない、または調整しても症状が解消されない場合は次のチェックをしてみてください。
- 3. もしここに記載されていないような症状が起こったり、記述通りのチェックをしても症状が消えなかったときは、モニタの使用を中止し電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げになった販売店または iiyama サポートセンターにご連絡ください。

11上1八	ノエググがインド
① 映像が出ない (インジケータ点灯せず)	□電源コードが確実に接続されていますか?□電源スイッチが「ON」されていますか?□主電源スイッチが「ON」されていますか?□電源コンセントに電気がきていますか?別の機器で確認してください。
(インジケータ青色)	□ブランクスクリーンセーバーが作動中ではありませんか? マウスやキーボードを触ってみてください。□輝度およびコントラストが最小になっていませんか?□コンピュータの電源は入っていますか?□信号ケーブルが確実に接続されていますか?□コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか?
(インジケータ橙色)	□パワーマネージメント状態ではありませんか?マウスやキーボードを触ってみてください。□コンピュータの電源は入っていますか?□信号ケーブルが確実に接続されていますか?□コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか?
②画面が乱れている	□信号ケーブルが確実に接続されていますか? □コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか? □コンピュータの映像出力レベルがモニタの仕様に合っていますか?
③ 画面の位置が片寄っている	□コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか?
④ 画面が明るすぎる /暗すぎる	□コンピュータの映像出力レベルがモニタの仕様に合っていますか?
⑤画面が揺れる	□電源電圧は正常ですか?タコ足配線はやめてください。□コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか?
⑥ 音が出ない	□ オーディオ機器 (コンピュータ等)の電源は入っていますか? □ 音量調整が最小になっていませんか? □ Mute(消音)になっていませんか? □ オーディオ機器の音声出力レベルがモニタの仕様に合っていますか?
⑦ 音が大きい / 小さい	□オーディオ機器の音声出力レベルがモニタの仕様に合っていますか?

クリーニング

警告 ■万一、モニタ内部に異物または水などの液体が入ったときは、すぐに電源スイッ チを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店または jiyama サポートセ ンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電または故障の原因と なります。

■安全のため、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて行っ てください。感電の原因となることがあります。

- 補足 ■液晶パネル表面は傷つきやすいので、硬い物でこすったり、ひっかいたりしない でください。
 - ■キャビネットや液晶パネルを痛めないために、次の溶剤は使用しないでください。



- ・シンナー
- ・スプレークリーナー
- ・ベンジン
- ・ワックス
- 研磨剤
- ・酸性、アルカリ性の溶剤
- ■キャビネットにゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでくだ さい。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。
- キャビネット 柔らかい布を薄い中性洗剤でわずかに湿らせて汚れを落としてください。その後 乾いた柔らかい布で拭いてください。
- 定期的に柔らかい布でやさしく拭いてください。ティッシュペーパー等で拭くと 液晶パネル 傷が入る恐れがありますので、使用しないでください。

アフターサービス

保証書/保証期間について

- ■本製品の保証書は、付属のセーフティ&クイックスタートガイドに記載されています。
- ■保証書の「販売店名・お買い上げ日」などの所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、 大切に保管してください。
- 保証期限はお買い上げ日より3年間です。 ただし、保証期間内でも有料修理とさせていただく場合があります。詳しくは、付属のセーフティ & クイックスタートガイドのく保証条件>をご確認ください。

修理サービス

- ■「故障かなと思ったら」でチェックしても症状が解消されない場合は、お買い上げの販売店また は iivama サポートセンターへご連絡ください。
- ■修理や点検のためモニタを輸送される時は、専用の梱包箱、クッションをで使用ください。他 の梱包材料を使って輸送した場合、モニタが破損したり、故障の原因となることがあります。 なおこの事由による修理は保証期間内であっても有料となります。
 - お手元に専用の梱包材料がない場合は、送付前に必ず iiyama サポートセンターまでご連絡くだ さい。
- ■本製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)は、製造終了後5年間保 有することを基本としております。しかし、部品によっては稀に5年間保有することができな い場合や標準品とは違う同等品となる場合もございますのであらかじめご了承ください。また、 補修用性能部品の5年間の保有期間が経過した後でも、故障箇所によっては修理可能な場合が ありますので、お買い上げの販売店または jivama サポートセンターにご相談ください。
- ■修理の際に弊社品質基準に適合した再生部品を使用することがございます。あらかじめご了承 立 ください。

リサイクル/廃棄について

- ■本製品を、ごみ廃棄場で処分される一般のごみといっしょに捨てないでください。
- ■製品を弊社以外へ廃棄する際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。
- ■本製品を一般家庭でご使用の場合は、弊社が無償で回収・再資源化いたします。ただし、本製 品を事業所でご使用の場合は、対象外となります。
- リサイクル/廃棄の詳細については弊社ホームページをご覧いただくか、iiyama サポートセン ター リサイクル受付へお問い合わせください。

リサイクル/廃棄についてのお問い合わせ iiyama サポートセンター リサイクル受付

TEL 03-3570-6374



このマークが表示されている弊社製品は、 弊社が無償で回収・再資源化いたします。 詳細は弊社ホームページをご参照ください。 URL:http://www.iivama.co.ip

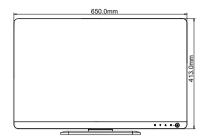
付録

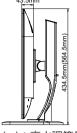
仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

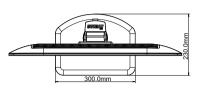
一般仕様

対角 68.3cm(27 型)			
水平 0.116mm ×垂直 0.116mm			
(標準)			
)			
kHz 垂直:24 ~ 30,55 ~ 75Hz ~180kHz 垂直:24 ~ 30,55 ~ 75Hz			
4.7 Mega Pixels			
HDMI1: 3840 × 2160 60Hz DisplayPort: 5120 × 2880 60Hz			
< 2			
ayPort			
ジャック			
-カー)			
水平:595.2mm 垂直:334.8mm			
AC100 ~ 240V 50/60Hz 1.3A			
60W(標準),パワーマネージメントモード時:0.5W(最大)			
650.0(幅)×434.5~564.5(高)×230.0(奥行)mm, 8.2kg			
2°,左右各 45°			
35℃ : 80% (結露なきこと)) ~ 60℃ 35% (結露なきこと)			
PSE, ENERGY STAR®			

外形寸法図







):高さ調節最大時

対応信号タイミング

ビデオモード	水平周波数	垂直周波数	ドットクロック
640 × 480	31.469kHz	59.940Hz	25.175MHz
	37.500kHz	75.000Hz	31.500MHz
800 × 600	37.879kHz	60.317Hz	40.000MHz
	46.875kHz	75.000Hz	49.500MHz
1024 × 768	48.363kHz	60.004Hz	65.000MHz
	60.023kHz	75.029Hz	78.750MHz
1280 × 1024	63.981kHz	60.020Hz	108.000MHz
	79.976kHz	75.025Hz	135.000MHz
1920 × 1080	66.590kHz	59.930Hz	138.500MHz
3840 × 2160	133.313kHz	59.997Hz	533.250MHz
5120 × 2880	176.460kHz	59.960Hz	967.000MHz
1920 × 2160	135.000kHz	60.000Hz	297.000MHz

*****1

補足 *1 DisplayPort 入力のみ。
*2 PbP モードで使用することをお勧めします。

お客様の個人情報の管理および利用について

当社は、お客様の個人情報について、「個人情報の保護に関する法律」および「個人情報の保護に関する法律についての経済産業分野を対象とするガイドライン」に準拠し、取り扱いを定めて、 適切に管理、利用いたします。

当社が定める「個人情報保護方針」は、下記 URL からご確認ください。

URL http://www.iiyama.co.jp/article/privacy_policy.html

IIYAMA CORPORATION

● 製品の取り扱いおよび修理についてのお問い合わせ

iiyama サポートセンター

■月曜日~金曜日 9:00 ~ 17:00 (但し、弊社指定休日は除く)

TEL 03-3570-6374 FAX 03-3570-6375

特定化学物質の含有情報は下記の弊社ホームページに記載しています。

URL: http://www.iiyama.co.jp/support/eco/jmos/index.html

サポートの最新情報 (連絡先等) は弊社ホームページに記載しています。 お問い合わせの前に、ホームページにてご確認ください。

URL: http://www.iiyama.co.jp/